

ビデオ教材(映像コンテンツ)の教育利用に関する 意識調査報告書

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://study.jp>

目次

| | |
|--------------------------|----|
| 1. 調査概要 | 3 |
| 2. 回答者属性 | 4 |
| 3. まとめ | 8 |
| 4. アンケート結果にみるポイント | 9 |
| 5. アンケート調査結果 GTグラフ | 12 |
| GT表 | 26 |
| クロス表 | 39 |

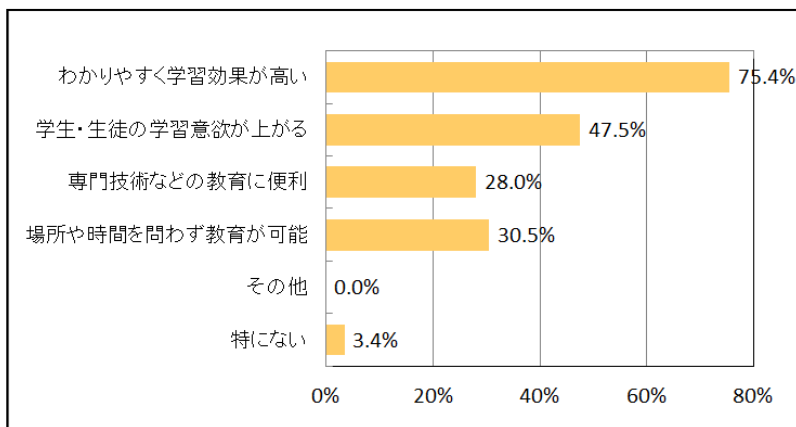
1. 調査概要

eラーニング戦略研究所は、全国の小中高、大学・専門学校、予備校・学習塾の教職員および経営者 計118名を対象に、ビデオ教材(映像コンテンツ)の教育利用の実態についてアンケート調査を実施しました。(有効回答数 118)

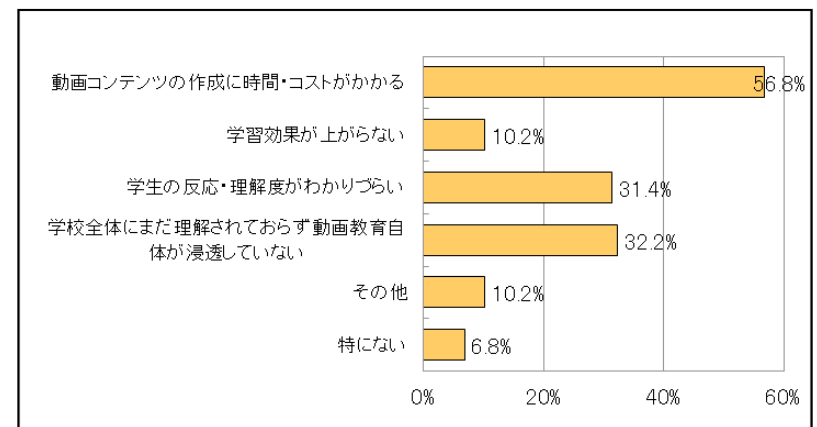
その結果、教育現場で動画や映像コンテンツを活用したいと考えている人は8割近くに上り、これまでの動画コンテンツの活用経験の有無や所属する教育機関などにかかわらず、教育関係者の多くが動画コンテンツを利用した教育を「わかりやすく学習効果が高い」と認識し、その活用にきわめて前向きであることが明らかとなりました。

一方、動画コンテンツの教育利用におけるデメリットとして、コンテンツ作成の負荷やコスト面の問題などが挙げられ、それぞれの学校の教育内容や学習者の年齢・属性などにあった動画コンテンツを、低コストで提供してほしいという声が多く見られました。アンケートでは「ただ見せるだけで終わらないものが必要」「映像を配信するだけでは不十分」といった意見もあり、単に映像を見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせにより、さらに教育効果を高められるような動画コンテンツの在り方・使い方が模索され、検証されている段階と言えます。

設問2. 動画・映像コンテンツの教育利用のメリットは？



設問3. 動画・映像コンテンツの教育利用のデメリットは？



2. 回答者属性

アンケート調査概要

調査期間 : 2011年12月22日(木)～12月26日(月)

調査方法 : Webアンケート方式

調査対象 : 全国の小中高、大学・専門学校、予備校・学習塾の教職員および経営者 計118名

性別内訳 : 男性(72.9%)、女性(27.1%)

年代別内訳 : 20～29歳(5.9%)、30～39歳(32.2%)、40～49歳(30.5%)、50～59歳(28.8%)、60～69歳(0.8%)、70歳以上(1.7%)

勤務先内訳 : 小学校(1.7%)、中学校(0.8%)、高校(17.8%)、大学・大学院(29.7%)、専門学校(11.0%)、予備校・学習塾(39.0%)

性別内訳

| | | N | % |
|----|----|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 男性 | 86 | 72.9% |
| 2 | 女性 | 32 | 27.1% |

年代別内訳

| | | N | % |
|----|--------|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 20～29歳 | 7 | 5.9% |
| 2 | 30～39歳 | 38 | 32.2% |
| 3 | 40～49歳 | 36 | 30.5% |
| 4 | 50～59歳 | 34 | 28.8% |
| 5 | 60～69歳 | 1 | 0.8% |
| 6 | 70歳以上 | 2 | 1.7% |

勤務先別内訳

| | | N | % |
|----|---------|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 小学校 | 2 | 1.7% |
| 2 | 中学校 | 1 | 0.8% |
| 3 | 高等学校・高校 | 21 | 17.8% |
| 4 | 大学・大学院 | 35 | 29.7% |
| 5 | 専門学校 | 13 | 11.0% |
| 6 | 予備校・学習塾 | 46 | 39.0% |
| 7 | その他 | 0 | 0.0% |

都道府県別

| | | N | % | | | N | % |
|----|------|-----|--------|----|------|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% | 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 北海道 | 6 | 5.1% | 25 | 滋賀県 | 0 | 0.0% |
| 2 | 青森県 | 0 | 0.0% | 26 | 京都府 | 4 | 3.4% |
| 3 | 岩手県 | 0 | 0.0% | 27 | 大阪府 | 5 | 4.2% |
| 4 | 宮城県 | 4 | 3.4% | 28 | 兵庫県 | 6 | 5.1% |
| 5 | 秋田県 | 0 | 0.0% | 29 | 奈良県 | 1 | 0.8% |
| 6 | 山形県 | 0 | 0.0% | 30 | 和歌山県 | 0 | 0.0% |
| 7 | 福島県 | 1 | 0.8% | 31 | 鳥取県 | 1 | 0.8% |
| 8 | 茨城県 | 2 | 1.7% | 32 | 島根県 | 2 | 1.7% |
| 9 | 栃木県 | 0 | 0.0% | 33 | 岡山県 | 4 | 3.4% |
| 10 | 群馬県 | 1 | 0.8% | 34 | 広島県 | 4 | 3.4% |
| 11 | 埼玉県 | 6 | 5.1% | 35 | 山口県 | 1 | 0.8% |
| 12 | 千葉県 | 6 | 5.1% | 36 | 徳島県 | 1 | 0.8% |
| 13 | 東京都 | 14 | 11.9% | 37 | 香川県 | 1 | 0.8% |
| 14 | 神奈川県 | 12 | 10.2% | 38 | 愛媛県 | 2 | 1.7% |
| 15 | 新潟県 | 3 | 2.5% | 39 | 高知県 | 0 | 0.0% |
| 16 | 富山県 | 0 | 0.0% | 40 | 福岡県 | 4 | 3.4% |
| 17 | 石川県 | 2 | 1.7% | 41 | 佐賀県 | 2 | 1.7% |
| 18 | 福井県 | 1 | 0.8% | 42 | 長崎県 | 1 | 0.8% |
| 19 | 山梨県 | 1 | 0.8% | 43 | 熊本県 | 2 | 1.7% |
| 20 | 長野県 | 2 | 1.7% | 44 | 大分県 | 1 | 0.8% |
| 21 | 岐阜県 | 0 | 0.0% | 45 | 宮崎県 | 0 | 0.0% |
| 22 | 静岡県 | 4 | 3.4% | 46 | 鹿児島県 | 2 | 1.7% |
| 23 | 愛知県 | 8 | 6.8% | 47 | 沖縄県 | 0 | 0.0% |
| 24 | 三重県 | 1 | 0.8% | 48 | その他 | 0 | 0.0% |

3. まとめ

ITインフラの整備に伴い、教育現場でも教育用映像コンテンツの利用が急増しているといわれています。Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育向け動画コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」のリリースなどにより、映像コンテンツの教育利用の可能性にますます注目が集まりつつありますが、実際の教育現場では、動画・映像コンテンツの活用はどの程度進んでいるのでしょうか。今回は、全国の小中高、大学・専門学校、予備校・学習塾の教職員および経営者 計118名を対象に、ビデオ教材(映像コンテンツ)の教育利用の実態についてアンケート調査を実施しました。

その結果、教育現場で動画・映像コンテンツを「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」と考えている人は8割近くに上り、これまでの動画コンテンツの活用経験の有無や所属する教育機関などにかかわらず、教育関係者の多くが動画コンテンツを利用した教育を「わかりやすく学習効果が高い」と認識し、その活用にもきわめて前向きであることがわかりました。「iTunes U」や「YouTube for Schools」などの動画コンテンツサービスについても、半数以上が「利用してみたい」と回答しています。活用推進派からは、「今後は生徒がタブレットを持ち込んで授業する形が一般化し、動画等を取り入れた教育が増える」「理解しやすくなったり、多方面に広がる学習ができ、教育の場には不可欠」といった期待の声がかけられました。

また、実際に動画コンテンツを教育利用したことのある回答者へのアンケート結果から、一部の教育現場において講義・授業内容がある程度映像コンテンツ化され、その活用が進んでいることが明らかとなりました。今後は、ニュース・参考映像の利活用や、動画をつかった専門技術教育にさらなるニーズがあるものと推察され、その活用範囲も授業内に留まらず、予・復習や家庭内学習、補講などへさらに広がることが予想されます。

その一方で、動画コンテンツの教育利用におけるデメリットとして、コンテンツ作成の負荷やコスト面の問題などが挙げられ、それぞれの学校の教育内容や学習者の年齢・属性などにあった動画コンテンツを、低コストで提供してほしいという声が多く見られました。アンケートでは「ただ見せるだけで終わらないものが必要」「映像を配信するだけでは不十分」といった意見もあり、単に映像を見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせにより、さらに教育効果を高められるような動画コンテンツの在り方・使い方が模索され、検証されている段階と言えます。

注目を浴びる動画・映像コンテンツが、次世代の教育を切り拓く有望なツールになり得るかどうか—多くの教育関係者が懸念する「コンテンツ」「コスト」に関する課題をいかに解決するか、動画コンテンツの教育現場におけるより効果的な活用手法をいかに確立するかが、今後のカギとなりそうです。

4. アンケート結果にみるポイント

**「動画コンテンツを教育現場で活用したい」が8割。
メリットは「わかりやすく学習効果が高い」、デメリットは「コンテンツ作成の負荷」。**

アンケートの結果、教育現場で動画・映像コンテンツを「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」と考えている人は8割近くに上り、動画コンテンツの教育利用に前向きな教育関係者が多いことがわかった。過去に動画コンテンツ活用経験のある人の多くは今後も「活用したい」と考えており、動画コンテンツ活用経験がない人も「どちらかと言えば活用したい」と興味を示す傾向が見られた。

一方、活用に積極的でない人、否定的な人はその理由に、「動画を映す施設や機材がない」「環境が整っていない」といった設備・環境面や、「動画がどの程度教育に活用できるかわからない」といった動画教育の効果への疑問などを挙げた。

次に、動画コンテンツを利用した教育のメリットを尋ねたところ、「わかりやすく学習効果が高い」がトップスコアとなった(75.4%)。メリットについては、これまでの活用経験の有無や所属する教育機関での差異は見られなかった。一方、デメリットは「コンテンツ作成に時間・コストがかかる」56.8%、「学校全体にまだ理解されておらず動画教育自体が浸透していない」32.2%、「学生の反応・理解度がわかりづらい」31.4%となった。

これらの結果から、これまでの動画コンテンツの活用経験の有無や所属する教育機関などにかかわらず、教育関係者の多くが動画コンテンツを利用した教育を「わかりやすく学習効果が高い」と認識し、その活用にもきわめて前向きであることがわかった。デメリットとしては、コンテンツ作成における負荷を指摘する声が多かった。また、教職員ひとりひとは動画教育に関心があるが、学校全体で見ればその活用方法や効果等に疑問があったり理解されておらず、それが導入への障害になっているケースも少なくないようだ。

**動画コンテンツの内容は「講義・授業」「ニュース映像」「専門技術・操作方法」など。
その半数を学校内で作成。**

アンケート回答者のうち、実際に動画コンテンツを教育現場で活用したことがある人はほぼ半数(49.2%)だった。教育機関による大きな差異はないが、大学・大学院、専門学校では「活用経験がある」が「ない」よりやや多かった。

活用経験がある人にその動画コンテンツの内容を尋ねたところ、「講義・授業内容」77.6%、「ニュース・参考映像」31%、「専門技術や機械・PCなどの操作方法」24.1%などとなった。小中高、大学・大学院、予備校では「授業」映像の利用が多く、専門学校では「専門技術・機械の操作方法」のコンテンツ利用率が高かった。また、男性は「授業」「ニュース映像」「専門技術・機械の操作方法」の映像コンテンツ活用度が高く、女性は「授業」「一般教養・ビジネスマナー」の利用率が高めだった。これらは主に、「授業における補足資料として活用」されているほか、小中高では「校内知識アーカイブとしての活用」、大学・大学院、予備校・塾では、「予習・復習・補講用のオンデマンド教材としての活用」もウェイトが高かった。

また、動画コンテンツは学校内で作成するか、市販のものを使用するケースが多いこともわかった。大学・大学院、予備校・塾では教職員によるオリジナルコンテンツ作成の割合が高く、小中高、専門学校ではオリジナルコンテンツと市販のコンテンツの使用が半々だった。もっともコストがかかる「外部業者によるオリジナルコンテンツ作成」は、小中高ではゼロ、その他教育機関でも少数派だった。

これらの結果から、一部の教育現場において講義・授業内容がある程度映像コンテンツ化され、その活用が進んでいることが明らかとなった。今後は、ニュース・参考映像の利活用や、動画をつかった専門技術教育にさらなるニーズがあるものと推察され、その活用範囲も授業内に留まらず、予・復習や家庭内学習、補講など、ますます広がることが予想される。また、半数が学校内で教材作成を行っている現状から、より平易な映像コンテンツ作成ツールの開発や、低コストでオリジナルの映像コンテンツ化が可能なサービスの充実が求められているものと考えられる。

半数以上が「iTunes U」「YouTube for Schools」へ期待。 コンテンツ、コスト、活用方法に関する課題解決が今後のカギ。

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスを利用してみたいか尋ねたところ、半数(55.1%)が利用してみたいと回答した。

詳しくみると、動画活用経験のある人は「やや利用してみたい」が多く、動画活用経験のない人は「どちらともいえない」が多いことがわかる。前者は動画活用のメリットや具体的活用法をある程度イメージできていると考えられ、後者は関心はあるものの、具体的な活用イメージが持てないためと考えられる。

最後に、動画・映像コンテンツの教育利用について自由回答で要望や意見をお聞きした。もっとも多かったのはコンテンツやコストに関するもので、それぞれの学校の教育内容や学習者の年齢・属性などにあった動画コンテンツを、低コストで提供してほしいという声が非常に多く見られた。アンケートでは「ただ見せるだけで終わらないものが必要」「映像を配信するだけでは不十分」といった意見もあり、単に映像を見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせにより、さらに教育効果を高められるような動画コンテンツの在り方・使い方が模索されていることもわかった。

一方で、課題と同じだけ期待の声も多い。「今後は生徒がタブレットを持ち込んで授業する形が一般化し、動画等を取り入れた教育が増える」「理解しやすくなったり、多方面に広がる学習ができ、教育の場には不可欠」「普及し便利に使えるようになってほしい」などとなった。

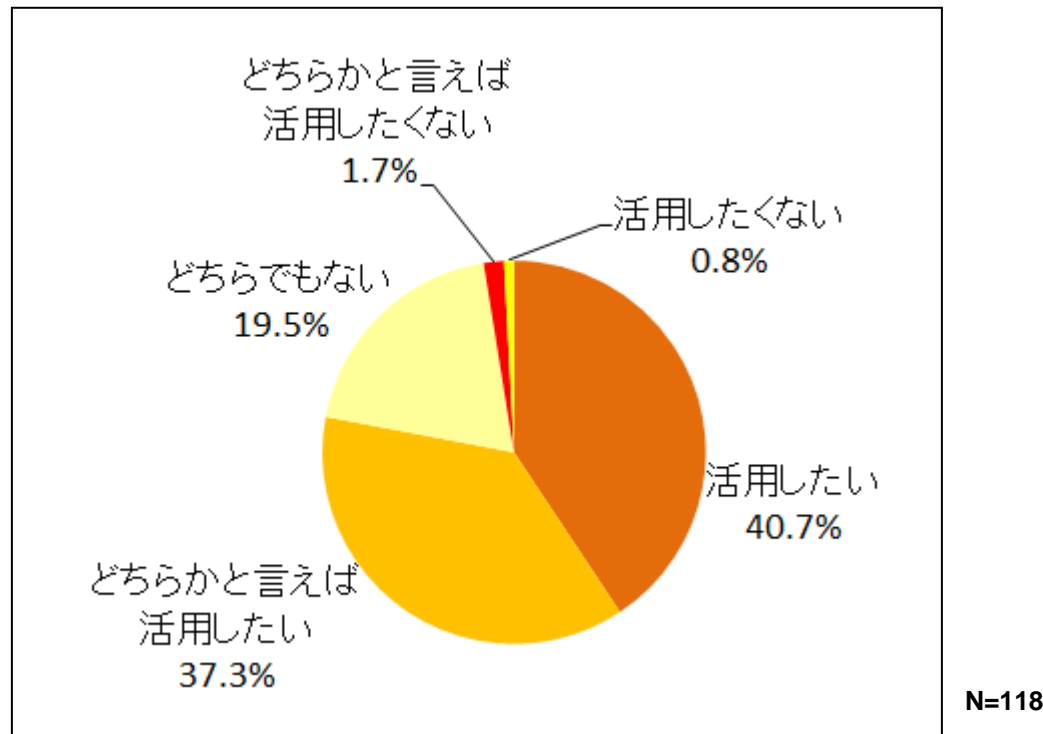
まだ新しく国内では発展途上の動画コンテンツサービスも、教育関係者の関心は高めで否定的な意見は少ない。多くの教育関係者が懸念する「コンテンツ」「コスト」に関する課題をいかに解決するか、動画コンテンツの教育現場におけるより効果的な活用手法をいかに確立するかが、今後のカギとなりそうだ。

5. アンケート調査結果

<GTグラフ>

■設問1

あなたは今後、教育現場にて動画や映像のコンテンツを活用したいとお考えですか。
(お答えは1つ)



■考察

- ・「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」が8割(78%)。
- ・動画・映像コンテンツの教育利用に前向きな傾向が見られる。

■設問1-1

設問1でお答えいただいた理由を教えてください。

■活用したい・どちらかと言えば活用したい

| |
|----------------------------------|
| 教育効果が高まる・学習内容の定着率も高い |
| 講義形式では生徒の集中力が持続しないから |
| 学生が関心を持つから |
| 学生に臨場感を持って語学を教えることができる |
| IT教育は必須であるため |
| 教室で用意できる資料には限度があるから |
| 指導にタブレットPCの導入を検討しているので |
| 外国人にも理解ができるものになるから |
| 今は、固定した場所でだけ教育を提供するスタイルではやっていけない |

■どちらでもない

| |
|-----------------------|
| 動画や映像を映し出す施設や機材がない |
| 活用できるような環境が整っていない |
| 動画がどの程度教育に活用できるかわからない |
| どれくらい有効性があるのかわからないので |
| 教材次第だと思う |
| コストが心配 |

■活用したくない・どちらかと言えば活用したくない

| |
|-----------------------------|
| 映像ではなく、実習として実際に体験させていと考えてる。 |
| 自分が活用する立場にないから |

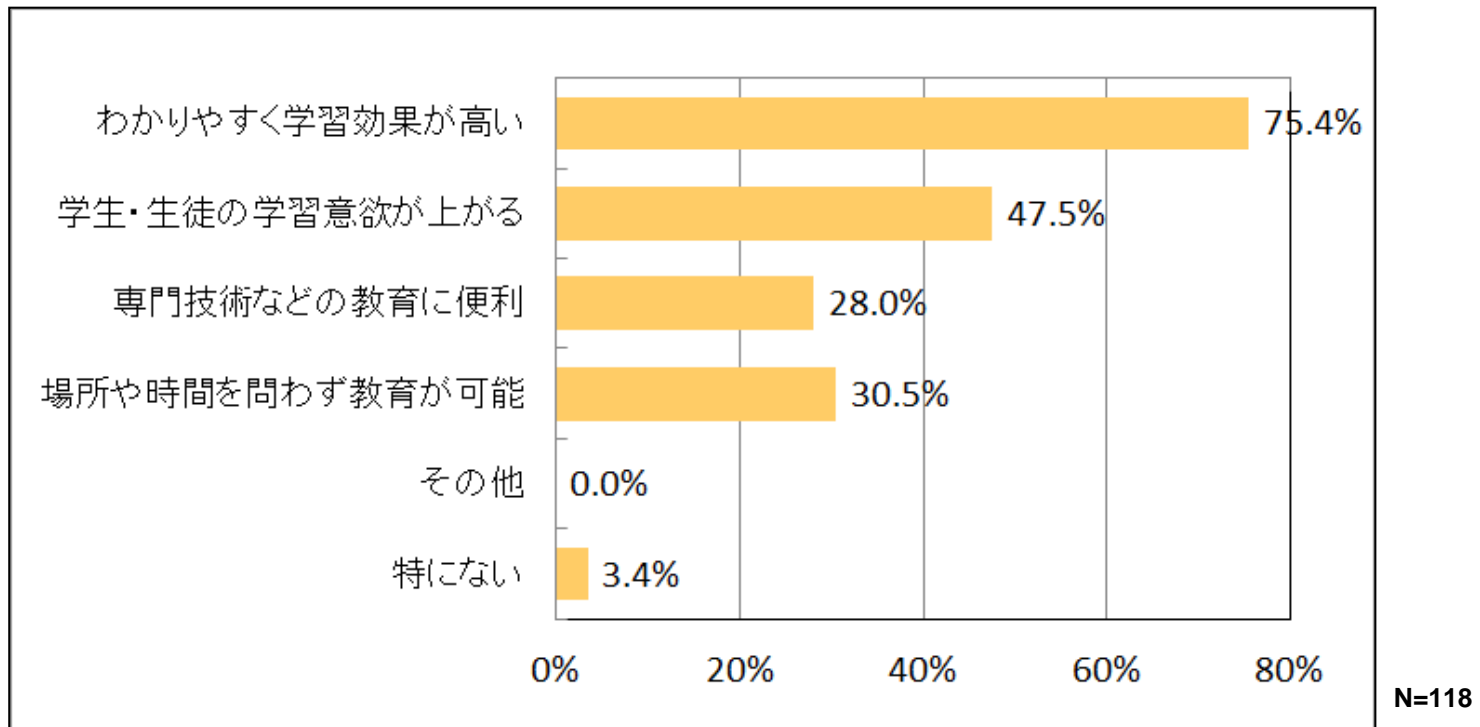
(一部抜粋)

■考察

- ・活用推進派の期待は、**教育効果向上、学生の集中度・関心度アップ、教育IT化への期待**など。
- ・活用に積極的でない理由は、**動画教育の効果への疑問、設備・環境面が整っていない、コスト面**など。

■設問2

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のメリットはどんなものと考えますか。
(お答えはいくつでも)



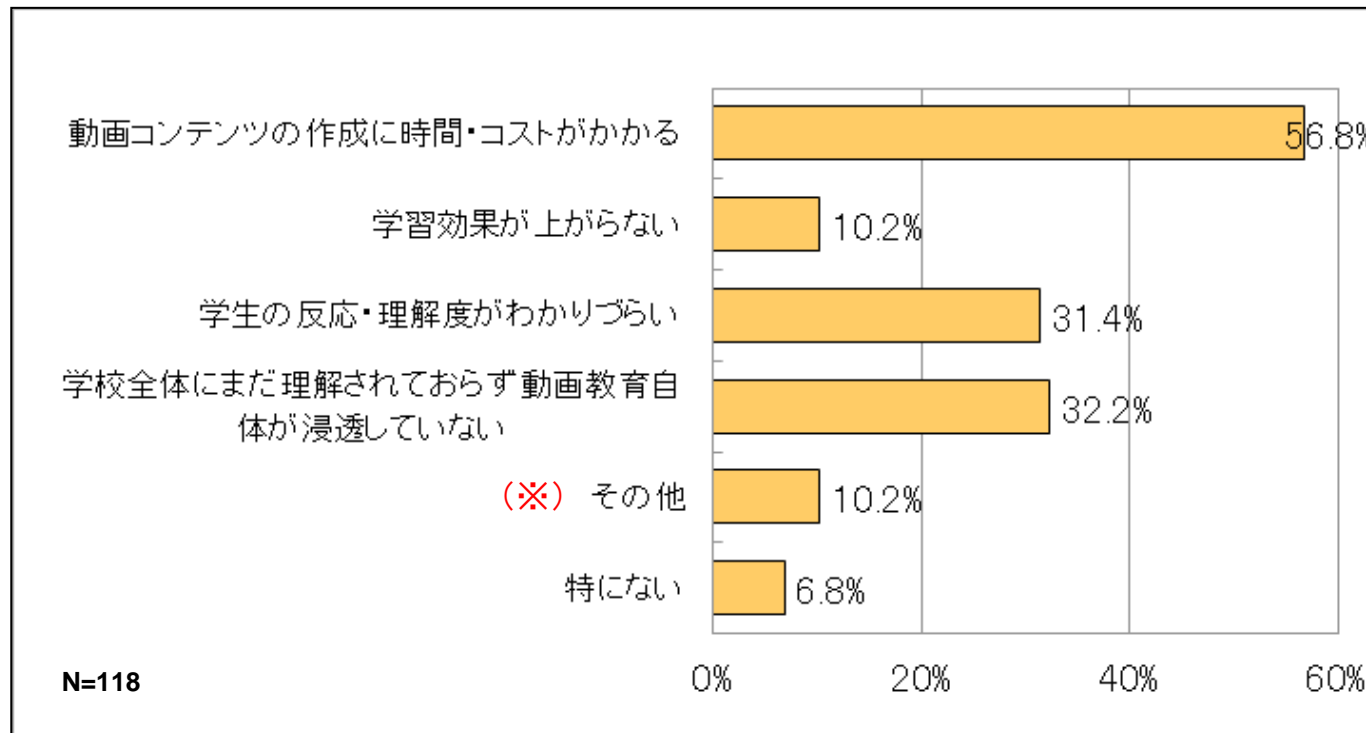
■考察

- ・ほとんどの人が動画コンテンツの教育利用に、何らかのメリットを感じている。
- ・動画コンテンツは“わかりやすく”“学生の意欲を上げ”“学習効果が高い”と認識されている。

■設問3

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のデメリットはどんなものと考えますか。

(お答えはいくつでも)



(※) その他

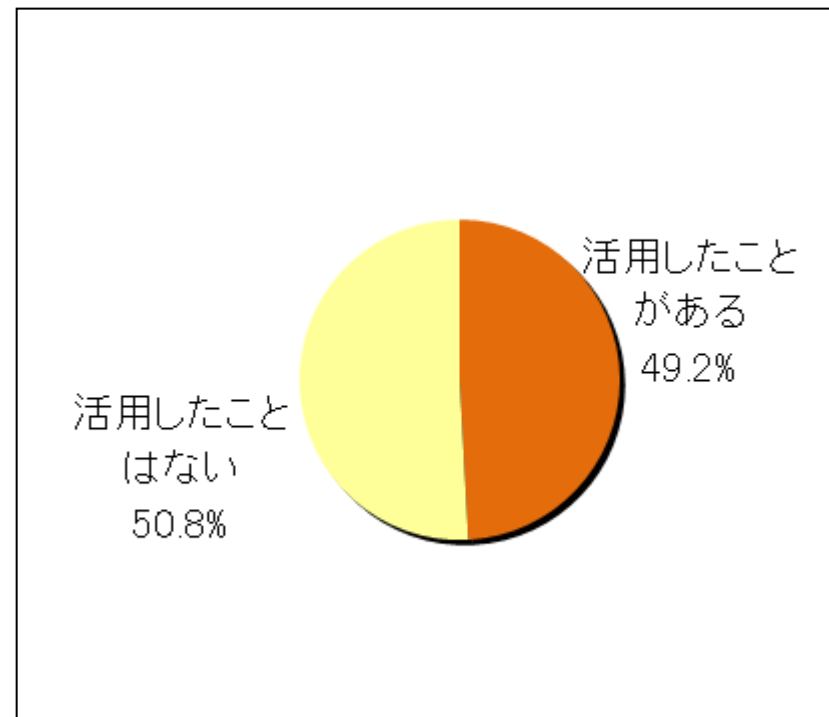
- ・教員が楽をする
- ・集中できない
- ・無駄な時間だけを取るような映像もある
- ・コスト面
- ・準備時間が必要
- ・自分の頭で考えない
- ・時と場所を選ぶ
- ・解った気になり深い思考力洞察力を身につけにくい
- ・やる人とやらない人の差が大きい
- ・ソフトが少ない
- ・その場で質問ができない
- ・いつでもどこでもという点がデメリットになる場合も学生によってはある

■考察

- ・最大の弱点は、コンテンツ作成の時間・コスト。
- ・個人的には動画教育に関心があるが、学校全体で見ればその活用方法や効果等に疑問があったり理解されておらず 導入への障害になっているケースも少なくない。

■設問4

あなたは動画・映像コンテンツを教育現場で活用されたことがありますか。(お答えは1つ)

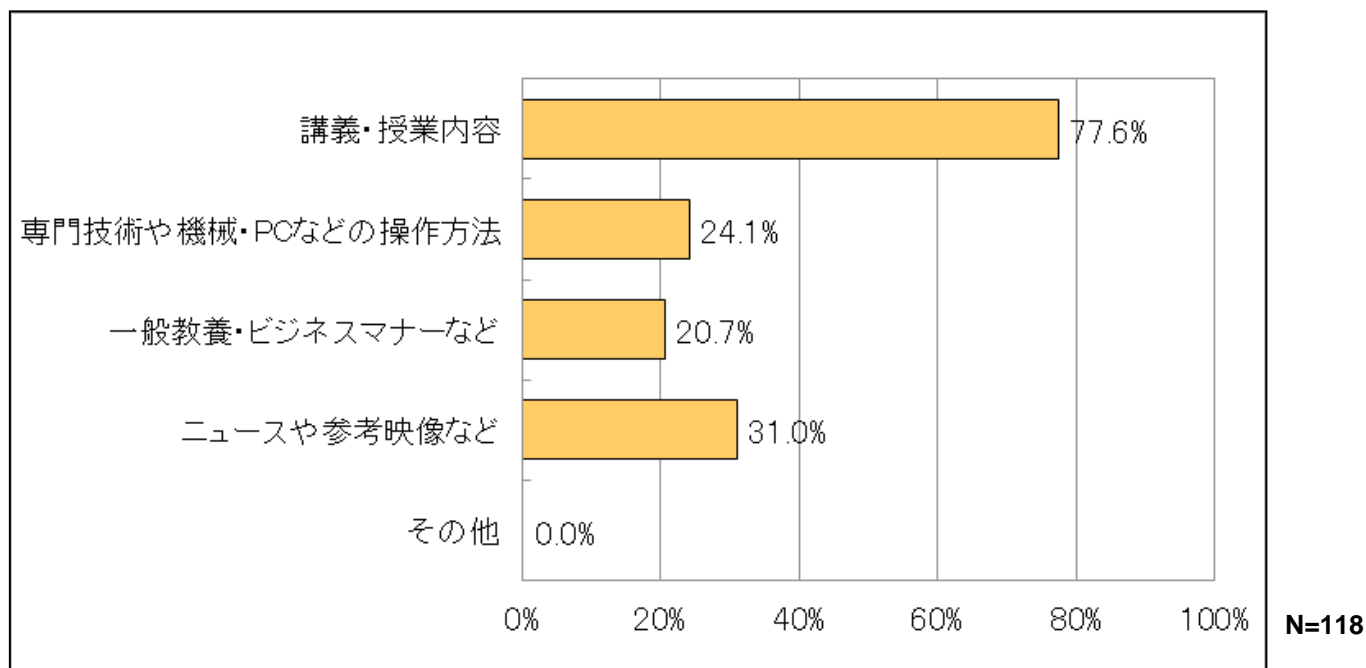


■考察

・「活用したことがある」と「活用したことはない」がほぼ半々の結果になった。

■設問4-1

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの内容をお答えください。(お答えはいくつでも)

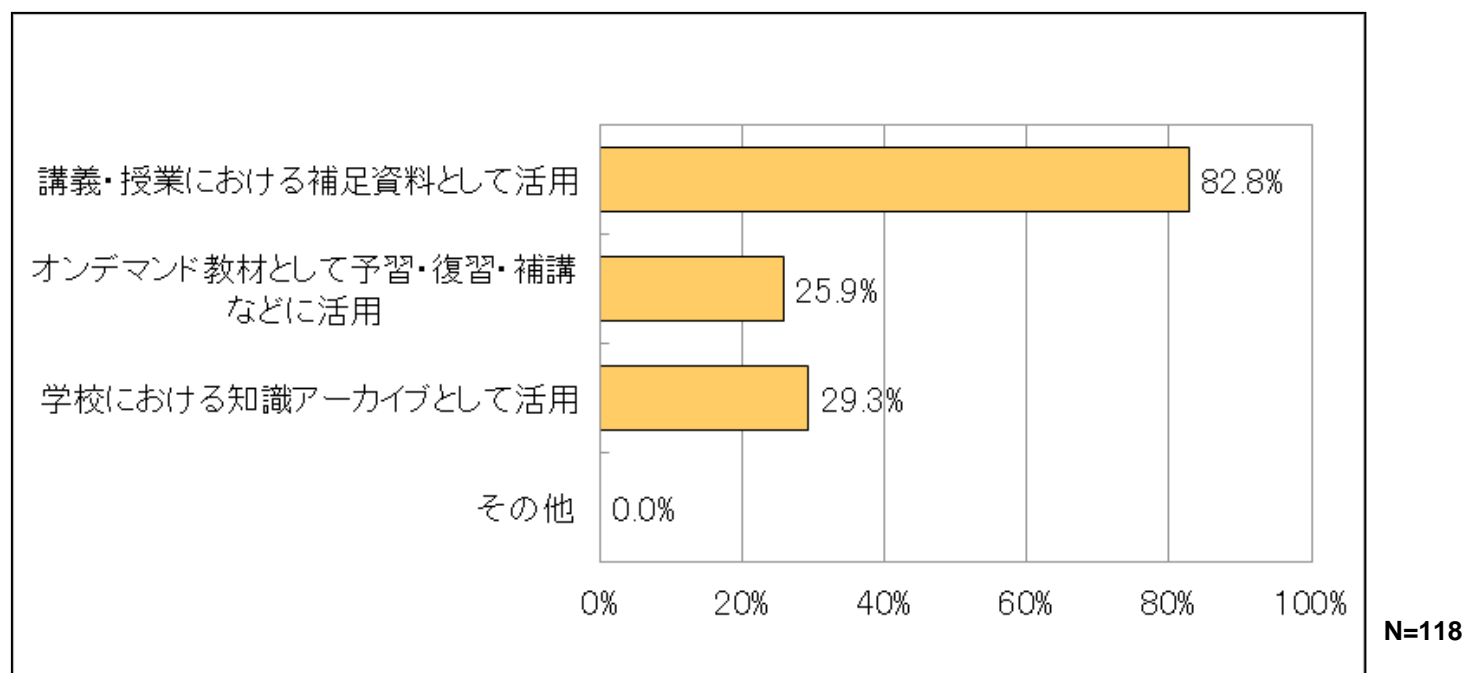


■考察

- ・約8割(77%)が**講義や授業を映像コンテンツ化し、活用している。**
- ・録画したニュースや動画サイトの参考映像などを利用している人もいる。

■設問4-2

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの活用方法をお答えください。(お答えはいくつでも)

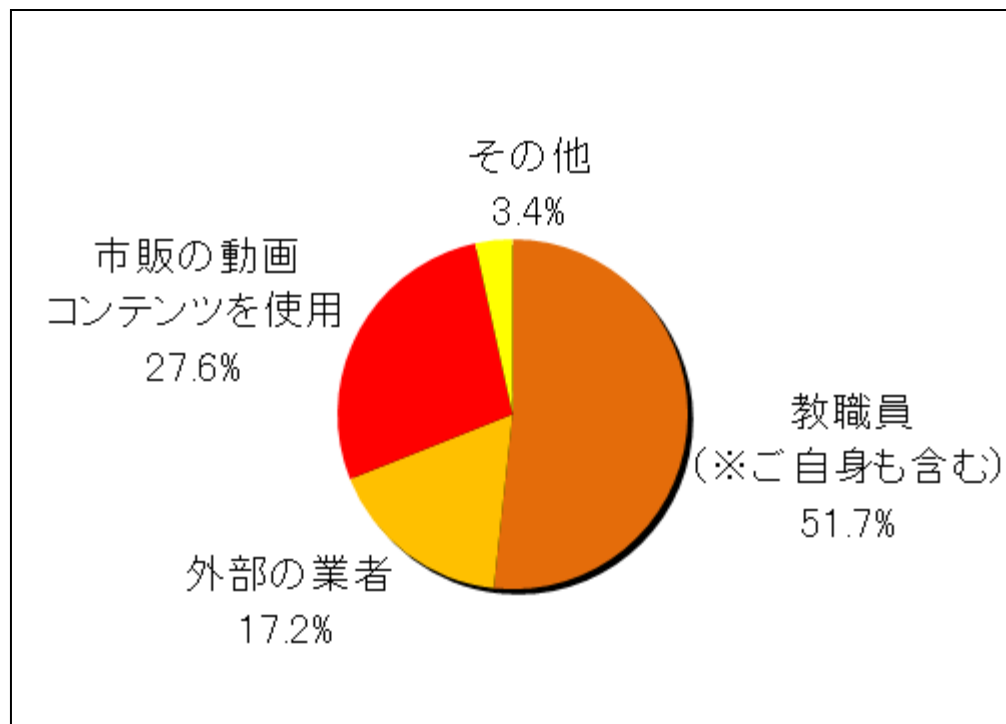


■考察

- ・動画コンテンツは、**主に講義・授業の補足資料として活用されている。**

■設問4-3

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツは主にどなたが作成していますか。(お答えは1つ)

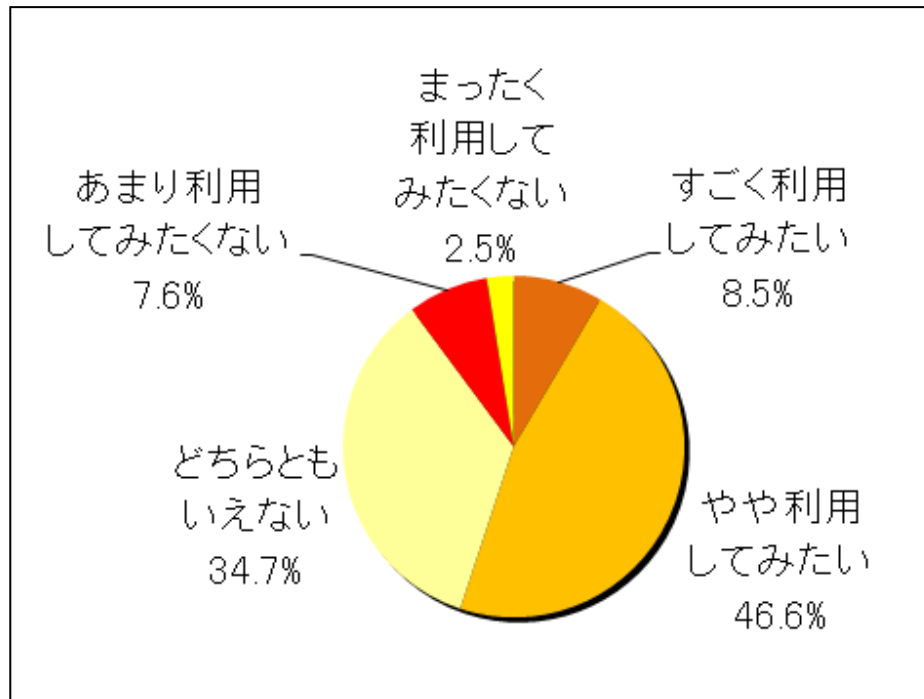


■考察

- ・半数(51%)が学校内で作成し、3割(27.6%)が市販の動画コンテンツを使用している。
- ・もっともコストがかかる外部業者の利用は2割に満たない。

■設問5

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスについて、今後、このような動画・映像コンテンツのサービスを利用してみたいと思いますか。



■考察

- ・半数(55.1%)が「利用してみたい」と回答。
- ・全体の3分の1を占める「どちらともいえない」は、活用方法や効果がまだはっきりとわからないことが主な理由と推察される。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<1. コンテンツに関する課題>

| | |
|-------------------|---------------------------------|
| コンテンツ内容 | 低コストで良質な教材を開発願いたい。 |
| | ただ見せるだけで終わらないようなものがほしい |
| | ただ映像を配信するだけでは不十分。後のフォローが大切。 |
| | あくまで補助的なものとして作って欲しい。 |
| | キャリア教育、道徳教育において優れた教材を探している。 |
| | 分子の動きや反応過程をうまく説明できる動画コンテンツが欲しい。 |
| | 子供対象の語学教育のコンテンツがあれば良い。 |
| | 英語によるコンテンツは利用しづらい。 |
| | どの映像もどれでも再生可能な形式で提供してもらいたい |
| | あまり時間が長いコンテンツは、効果がないのではないか |
| | 子供が喜んでして、利益が上がるもの。 |
| | よほど中身が良くないと、効果が無い。 |
| | 教員が良いコンテンツを共有できる場を多く提供してもらいたい。 |
| 画像の鮮明度が微妙で使いづらそう。 | |

(一部抜粋)

■考察

- ・コンテンツに関する要望・意見がもっとも多い結果となった。
- ・教育内容や学習者にあったコンテンツかつ低コストなものが求められている。
- ・見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせによりさらに教育効果を高められる映像コンテンツの使い方が模索されている。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<2. その他さまざまな課題>

| | |
|--------|--|
| 設備・環境 | 使用方法についてまだまだ準備や精査が必要 |
| | まず設備が整っていること。未経験者にもコンテンツが扱いやすいこと。コストがあまりかからないこと。 |
| | 作成補助・支援機能を充実させて頂きたい。 |
| コスト | 大がかりな機器を必要としないコストダウン |
| | 低コストが実現すると良い |
| 著作権 | コンテンツの制作は著作権の問題があり、二の足を踏んでしまう教員が多いと感じる |
| | 低予算で配布でき、著作権が守られること |
| 効果・有効性 | 実際の成果が見えにくいので実際何を扱うのか、目的などにもよると思う。 |
| | こういった年代の子たちに対して(例えば小学生なのか、中学生なのか)最も有効となるのか知りたい。 |

(一部抜粋)

■考察

- ・設備・環境面の整備も必要不可欠である。
- ・コンテンツに関する課題でもあるが、コスト、著作権の課題を挙げる人も多い。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<3. 期待の声>

| | |
|------|---|
| 期待の声 | テレビのドキュメンタリーなどはとても教育に役立てやすいが、良いものがあったことを後で知ることが多く役立てづらい状況。YouTubeなどで教育のカテゴリーから常に選択・使用することが出来れば、使いやすく今後の発展に繋げやすい |
| | これからは各生徒がタブレットを持ち込んで授業する形が一般化してくると思われるので、動画等を取り入れる教育は増えてくると思う |
| | 理解しやすくなったり、多方面に広がる学習ができるので、教育の場には不可欠である。 |
| | 子どもたちにもっと学ぶことに興味を持ってもらえるように、新しいことはどんどん試していきたい |
| | 教育は生きた人間が互いに相手の顔を見表情を確認しながら為されるのを主としたい。だがこうしたコンテンツに若者は興味を起しやすく、また知識を得るには勝れた道具である。副教材として考えていきたい |
| | スマートフォンで見れるサイト・コンテンツがこれから先は有効 |
| | 生徒が自分のペースで学習できると思う。反復できることがメリット。 |
| | 今後普及が広まり便利に使えるようになってほしい |

(一部抜粋)

■考察

- ・新しい教育ツールとして、動画・映像コンテンツが注目されている。
- ・時代にあった、新しい学びの形を教育関係者は模索している。

<GT表>

■設問1

あなたは今後、教育現場にて動画や映像のコンテンツを活用したいとお考えですか。
(お答えは1つ)

| | | N | % |
|----|-----------------|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 活用したい | 48 | 40.7% |
| 2 | どちらかと言えば活用したい | 44 | 37.3% |
| 3 | どちらでもない | 23 | 19.5% |
| 4 | どちらかと言えば活用したくない | 2 | 1.7% |
| 5 | 活用したくない | 1 | 0.8% |

■考察

- ・「活用したい」「どちらかと言えば活用したい」が8割(78%)。
- ・動画・映像コンテンツの教育利用に前向きな傾向が見られる。

■設問1-1

設問1でお答えいただいた理由を教えてください。

■活用したい・どちらかと言えば活用したい

| |
|----------------------------------|
| 教育効果が高まる・学習内容の定着率も高い |
| 講義形式では生徒の集中力が持続しないから |
| 学生が関心を持つから |
| 学生に臨場感を持って語学を教えることができる |
| IT教育は必須であるため |
| 教室で用意できる資料には限度があるから |
| 指導にタブレットPCの導入を検討しているので |
| 外国人にも理解ができるものになるから |
| 今は、固定した場所でだけ教育を提供するスタイルではやっていけない |

■どちらでもない

| |
|-----------------------|
| 動画や映像を映し出す施設や機材がない |
| 活用できるような環境が整っていない |
| 動画がどの程度教育に活用できるかわからない |
| どれくらい有効性があるのかわからないので |
| 教材次第だと思う |
| コストが心配 |

■活用したくない・どちらかと言えば活用したくない

| |
|-----------------------------|
| 映像ではなく、実習として実際に体験させていと考えてる。 |
| 自分が活用する立場にないから |

(一部抜粋)

■考察

- ・活用推進派の期待は、**教育効果向上、学生の集中度・関心度アップ、教育IT化への期待**など。
- ・活用に積極的でない理由は、**動画教育の効果への疑問、設備・環境面が整っていない、コスト面**など。

■設問2

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のメリットはどんなものと考えますか。
(お答えはいくつでも)

| 全体 | | N | % |
|----|----------------|----|-------|
| 1 | わかりやすく学習効果が高い | 89 | 75.4% |
| 2 | 学生・生徒の学習意欲が上がる | 56 | 47.5% |
| 3 | 専門技術などの教育に便利 | 33 | 28.0% |
| 4 | 場所や時間を問わず教育が可能 | 36 | 30.5% |
| 5 | その他 | 0 | 0.0% |
| 6 | 特にない | 4 | 3.4% |

■考察

- ・ほとんどの人が動画コンテンツの教育利用に、何らかのメリットを感じている。
- ・動画コンテンツは“わかりやすく”“学生の意欲を上げ”“学習効果が高い”と認識されている。

■設問3

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のデメリットはどんなものと考えますか。

(お答えはいくつでも)

| 全体 | | N | % |
|----|-------------------------------|----|-------|
| 1 | 動画コンテンツの作成に時間・コストがかかる | 67 | 56.8% |
| 2 | 学習効果が上がらない | 12 | 10.2% |
| 3 | 学生の反応・理解度がわかりづらい | 37 | 31.4% |
| 4 | 学校全体にまだ理解されておらず動画教育自体が浸透していない | 38 | 32.2% |
| 5 | その他 (※) | 12 | 10.2% |
| 6 | 特になし | 8 | 6.8% |

(※)その他

- ・教員が楽をする
- ・集中できない
- ・無駄な時間だけを取るような映像もある
- ・コスト面
- ・準備時間が必要
- ・自分の頭で考えない
- ・時と場所を選ぶ
- ・解った気になり深い思考力洞察力を身につけにくい
- ・やる人とやらない人の差が大きい
- ・ソフトが少ない
- ・その場で質問ができない
- ・いつでもどこでもという点がデメリットになる場合も学生によってはある

■考察

- ・最大の弱点は、コンテンツ作成の時間・コスト。
- ・個人的には動画教育に関心があるが、学校全体で見ればその活用方法や効果等に疑問があったり理解されておらず 導入への障害になっているケースも少なくない(全体の3分の1)。

■設問4

あなたは動画・映像コンテンツを教育現場で活用されたことがありますか。(お答えは1つ)

| | | N | % |
|----|-----------|-----|--------|
| 全体 | | 118 | 100.0% |
| 1 | 活用したことがある | 58 | 49.2% |
| 2 | 活用したことはない | 60 | 50.8% |

■考察

・「活用したことがある」と「活用したことはない」がほぼ半々の結果になった。

■設問4-1

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの内容をお答えください。(お答えはいくつでも)

| | | N | % |
|----|-------------------|----|--------|
| 全体 | | 58 | 100.0% |
| 1 | 講義・授業内容 | 45 | 77.6% |
| 2 | 専門技術や機械・PCなどの操作方法 | 14 | 24.1% |
| 3 | 一般教養・ビジネスマナーなど | 12 | 20.7% |
| 4 | ニュースや参考映像など | 18 | 31.0% |
| 5 | その他 | 0 | 0.0% |

■考察

- ・約8割(77%)が講義や授業を映像コンテンツ化し、活用している。
- ・録画したニュースや動画サイトの参考映像などを利用している人もいる。

■設問4-2

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの活用方法をお答えください。(お答えはいくつでも)

| | | N | % |
|-----------|--------------------------|----|--------|
| 全体 | | 58 | 100.0% |
| 1 | 講義・授業における補足資料として活用 | 48 | 82.8% |
| 2 | オンデマンド教材として予習・復習・補講などに活用 | 15 | 25.9% |
| 3 | 学校における知識アーカイブとして活用 | 17 | 29.3% |
| 4 | その他 | 0 | 0.0% |

■考察

・動画コンテンツは、**主に講義・授業の補足資料として活用されている。**

■設問4-3

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツは主にどなたが作成していますか。(お答えは1つ)

| | | N | % |
|----|---------------|----|--------|
| 全体 | | 58 | 100.0% |
| 1 | 教職員(※ご自身も含む) | 30 | 51.7% |
| 2 | 外部の業者 | 10 | 17.2% |
| 3 | 市販の動画コンテンツを使用 | 16 | 27.6% |
| 4 | その他 | 2 | 3.4% |

■考察

- ・半数(51%)が学校内で作成し、3割(27.6%)が市販の動画コンテンツを使用している。
- ・もっともコストがかかる外部業者の利用は2割に満たない。

■設問5

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスについて、今後、このような動画・映像コンテンツのサービスを利用してみたいと思いますか。

| 全体 | | N | % |
|----|---------------|----|-------|
| 1 | すごく利用してみたい | 10 | 8.5% |
| 2 | やや利用してみたい | 55 | 46.6% |
| 3 | どちらともいえない | 41 | 34.7% |
| 4 | あまり利用してみたくない | 9 | 7.6% |
| 5 | まったく利用してみたくない | 3 | 2.5% |

■考察

- ・半数(55.1%)が「利用してみたい」と回答。
- ・全体の3分の1を占める「どちらともいえない」は、活用方法や効果がまだはっきりとわからないことが主な理由と推察される。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<1. コンテンツに関する課題>

| | |
|-------------------|---------------------------------|
| コンテンツ内容 | 低コストで良質な教材を開発願いたい。 |
| | ただ見せるだけで終わらないようなものがほしい |
| | ただ映像を配信するだけでは不十分。後のフォローが大切。 |
| | あくまで補助的なものとして作って欲しい。 |
| | キャリア教育、道徳教育において優れた教材を探している。 |
| | 分子の動きや反応過程をうまく説明できる動画コンテンツが欲しい。 |
| | 子供対象の語学教育のコンテンツがあれば良い。 |
| | 英語によるコンテンツは利用しづらい。 |
| | どの映像もどれでも再生可能な形式で提供してもらいたい |
| | あまり時間が長いコンテンツは、効果がないのではないか |
| | 子供が喜んでして、利益が上がるもの。 |
| | よほど中身が良くないと、効果が無い。 |
| | 教員が良いコンテンツを共有できる場を多く提供してもらいたい。 |
| 画像の鮮明度が微妙で使いづらそう。 | |

(一部抜粋)

■考察

- ・コンテンツに関する要望・意見がもっとも多い結果となった。
- ・教育内容・学習者にあったコンテンツかつ低コストなものが求められている。
- ・見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせによりさらに教育効果を高められる映像コンテンツの使い方が模索されている。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<2. その他さまざまな課題>

| | |
|--------|--|
| 設備・環境 | 使用方法についてまだまだ準備や精査が必要 |
| | まず設備が整っていること。未経験者にもコンテンツが扱いやすいこと。コストがあまりかからないこと。 |
| | 作成補助・支援機能を充実させて頂きたい。 |
| コスト | 大がかりな機器を必要としないコストダウン |
| | 低コストが実現すると良い |
| 著作権 | コンテンツの制作は著作権の問題があり、二の足を踏んでしまう教員が多いと感じる |
| | 低予算で配布でき、著作権が守られること |
| 効果・有効性 | 実際の成果が見えにくいので実際何を扱うのか、目的などにもよると思う。 |
| | こういった年代の子たちに対して(例えば小学生なのか、中学生なのか)最も有効となるのか知りたい。 |

(一部抜粋)

■考察

- ・設備・環境面の整備も必要不可欠である。
- ・コンテンツに関する課題でもあるが、コスト、著作権の課題を挙げる人も多い。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<3. 期待の声>

| | |
|------|---|
| 期待の声 | テレビのドキュメンタリーなどはとても教育に役立てやすいが、良いものがあつたことを後で知ることが多く役立てづらい状況。YouTubeなどで教育のカテゴリーから常に選択・使用することが出来れば、使いやすく今後の発展に繋げやすい |
| | これからは各生徒がタブレットを持ち込んで授業する形が一般化してくると思われるので、動画等を取り入れる教育は増えてくると思う |
| | 理解しやすくなったり、多方面に広がる学習ができるので、教育の場には不可欠である。 |
| | 子どもたちにもっと学ぶことに興味を持ってもらえるように、新しいことはどんどん試していきたい |
| | 教育は生きた人間が互いに相手の顔を見表情を確認しながら為されるのを主としたい。だがこうしたコンテンツに若者は興味を起しやすく、また知識を得るには勝れた道具である。副教材として考えていきたい |
| | スマートフォンで見れるサイト・コンテンツがこれから先は有効 |
| | 生徒が自分のペースで学習できると思う。反復できることがメリット。 |
| | 今後普及が広まり便利に使えるようになってほしい |

(一部抜粋)

■考察

- ・新しい教育ツールとして、動画・映像コンテンツが期待されている。
- ・時代にあつた、新しい学びの形を教育関係者は模索している。

<クロス表>

■設問1

あなたは今後、教育現場にて動画や映像のコンテンツを活用したいとお考えですか。

(お答えは1つ)

性別×年代

| | | 全体 | 1 活用 したい | 2 し言ど たえち いばら 活か 用と | 3 など いち ら で も | 4 し言ど たえち くばら な活か い用と | 5 な活 い用 した く |
|----|-------|---------------|----------------|------------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|--------------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 48 40.7% | 44 37.3% | 23 19.5% | 2 1.7% | 1 0.8% |
| 男性 | | 86 100.0% | 39 45.3% | 30 34.9% | 14 16.3% | 2 2.3% | 1 1.2% |
| 男性 | 20代 | 3 100.0% | 1 33.3% | - | 1 33.3% | - | 1 33.3% |
| | 30代 | 25 100.0% | 14 56.0% | 8 32.0% | 3 12.0% | - | - |
| | 40代 | 25 100.0% | 11 44.0% | 10 40.0% | 4 16.0% | - | - |
| | 50代 | 30 100.0% | 13 43.3% | 9 30.0% | 6 20.0% | 2 6.7% | - |
| | 60代以上 | 3 100.0% | - | 3 100.0% | - | - | - |
| 女性 | | 32 100.0% | 9 28.1% | 14 43.8% | 9 28.1% | - | - |
| 女性 | 20代 | 4 100.0% | 2 50.0% | 1 25.0% | 1 25.0% | - | - |
| | 30代 | 13 100.0% | 6 46.2% | 5 38.5% | 2 15.4% | - | - |
| | 40代 | 11 100.0% | 1 9.1% | 5 45.5% | 5 45.5% | - | - |
| | 50代 | 4 100.0% | - | 3 75.0% | 1 25.0% | - | - |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - | - |

■考察

・女性より男性の方が動画コンテンツの教育利用に積極的。

・年代別には、活用意欲に大きな差異は見られない。

■設問1

あなたは今後、教育現場にて動画や映像のコンテンツを活用したいとお考えですか。
(お答えは1つ)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | | 全体 | 1 活用 したい | 2 し言ど たいえち いばら 活か 用と | 3 など い ちら でも | 4 し言ど たいえち くばら な活か い用と | 5 な活 用し たく |
|---------|--------|---------------|----------------|-------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------|---------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 48 40.7% | 44 37.3% | 23 19.5% | 2 1.7% | 1 0.8% |
| 小中高 | | 24 100.0% | 12 50.0% | 8 33.3% | 3 12.5% | 1 4.2% | - |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 8 72.7% | 2 18.2% | - | 1 9.1% | - |
| | 活用経験無し | 13 100.0% | 4 30.8% | 6 46.2% | 3 23.1% | - | - |
| 大学・大学院 | | 35 100.0% | 15 42.9% | 14 40.0% | 4 11.4% | 1 2.9% | 1 2.9% |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 12 57.1% | 8 38.1% | - | 1 4.8% | - |
| | 活用経験無し | 14 100.0% | 3 21.4% | 6 42.9% | 4 28.6% | - | 1 7.1% |
| 専門学校 | | 13 100.0% | 7 53.8% | 4 30.8% | 2 15.4% | - | - |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 5 71.4% | 2 28.6% | - | - | - |
| | 活用経験無し | 6 100.0% | 2 33.3% | 2 33.3% | 2 33.3% | - | - |
| 予備校・学習塾 | | 46 100.0% | 14 30.4% | 18 39.1% | 14 30.4% | - | - |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 10 52.6% | 6 31.6% | 3 15.8% | - | - |
| | 活用経験無し | 27 100.0% | 4 14.8% | 12 44.4% | 11 40.7% | - | - |

■考察

・動画コンテンツ活用経験がある人の多くは、今後も「動画コンテンツを活用したい」と考えている。

・動画コンテンツ活用経験がない人も、今後は「どちらかと言えば活用したい」が多い。

■設問1-1

設問1でお答えいただいた理由を教えてください。

■活用したい・どちらかと言えば活用したい

| |
|----------------------------------|
| 教育効果が高まる・学習内容の定着率も高い |
| 講義形式では生徒の集中力が持続しないから |
| 学生が関心を持つから |
| 学生に臨場感を持って語学を教えることができる |
| IT教育は必須であるため |
| 教室で用意できる資料には限度があるから |
| 指導にタブレットPCの導入を検討しているの |
| 外国人にも理解ができるものになるから |
| 今は、固定した場所でだけ教育を提供するスタイルではやっていけない |

■どちらでもない

| |
|-----------------------|
| 動画や映像を映し出す施設や機材がない |
| 活用できるような環境が整っていない |
| 動画がどの程度教育に活用できるかわからない |
| どれくらい有効性があるのかわからないので |
| 教材次第だと思う |
| コストが心配 |

■活用したくない・どちらかと言えば活用したくない

| |
|-----------------------------|
| 映像ではなく、実習として実際に体験させていと考えてる。 |
| 自分が活用する立場にないから |

(一部抜粋)

■考察

- ・活用推進派の期待は、**教育効果向上、学生の集中度・関心度アップ、教育IT化への期待**など。
- ・活用に積極的でない理由は、**動画教育の効果への疑問、設備・環境面が整っていない、コスト面**など。

■設問2

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のメリットはどんなものと考えますか。

(お答えはいくつでも)

性別×年代

| | | 全体 | 1 がくわ 高学か い習り 効や 果す | 2 がの学 上学生 が習・ る意生 欲徒 | 3 便ど専 利の門 教技 育術 にな | 4 育を場 が問所 可わや 能ず時 教間 | 5 特 に ない |
|----|-------|---------------|------------------------------------|-------------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 89 75.4% | 56 47.5% | 33 28.0% | 36 30.5% | 4 3.4% |
| 男性 | | 86 100.0% | 65 75.6% | 36 41.9% | 25 29.1% | 27 31.4% | 4 4.7% |
| 男性 | 20代 | 3 100.0% | 2 66.7% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% | 1 33.3% |
| | 30代 | 25 100.0% | 20 80.0% | 11 44.0% | 5 20.0% | 7 28.0% | - |
| | 40代 | 25 100.0% | 22 88.0% | 9 36.0% | 9 36.0% | 7 28.0% | 1 4.0% |
| | 50代 | 30 100.0% | 19 63.3% | 15 50.0% | 8 26.7% | 9 30.0% | 2 6.7% |
| | 60代以上 | 3 100.0% | 2 66.7% | - | 2 66.7% | 3 100.0% | - |
| 女性 | | 32 100.0% | 24 75.0% | 20 62.5% | 8 25.0% | 9 28.1% | - |
| 女性 | 20代 | 4 100.0% | 3 75.0% | 3 75.0% | 1 25.0% | 1 25.0% | - |
| | 30代 | 13 100.0% | 10 76.9% | 8 61.5% | 5 38.5% | 4 30.8% | - |
| | 40代 | 11 100.0% | 7 63.6% | 5 45.5% | 1 9.1% | 3 27.3% | - |
| | 50代 | 4 100.0% | 4 100.0% | 4 100.0% | 1 25.0% | 1 25.0% | - |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - | - |

■考察

・性別、年代に関わらず、「わかりやすく学習効果が高い」を最大のメリットに挙げる人が多い。

・60代以上の男性のみ、「場所や時間を問わず教育が可能」がトップスコア。

■設問2

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のメリットはどんなものと考えますか。
(お答えはいくつでも)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|---------|--------|---------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|--------------------------------|-------------------|
| | | | がくわ 高学か い習り 効や 果す | がの学 上学生 が習・ る意生 欲徒 | 便ど専 利の門 教技 育術 にな | 育を場 が問所 可わや 能ず時 教間 | 5 特 に ない |
| 全体 | | 118 100.0% | 89 75.4% | 56 47.5% | 33 28.0% | 36 30.5% | 4 3.4% |
| 小中高 | | 24 100.0% | 18 75.0% | 15 62.5% | 6 25.0% | 6 25.0% | 1 4.2% |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 9 81.8% | 10 90.9% | 5 45.5% | 4 36.4% | - |
| | 活用経験無し | 13 100.0% | 9 69.2% | 5 38.5% | 1 7.7% | 2 15.4% | 1 7.7% |
| 大学・大学院 | | 35 100.0% | 29 82.9% | 19 54.3% | 9 25.7% | 8 22.9% | 2 5.7% |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 18 85.7% | 11 52.4% | 7 33.3% | 6 28.6% | - |
| | 活用経験無し | 14 100.0% | 11 78.6% | 8 57.1% | 2 14.3% | 2 14.3% | 2 14.3% |
| 専門学校 | | 13 100.0% | 12 92.3% | 3 23.1% | 6 46.2% | 4 30.8% | - |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 7 100.0% | 2 28.6% | 4 57.1% | 3 42.9% | - |
| | 活用経験無し | 6 100.0% | 5 83.3% | 1 16.7% | 2 33.3% | 1 16.7% | - |
| 予備校・学習塾 | | 46 100.0% | 30 65.2% | 19 41.3% | 12 26.1% | 18 39.1% | 1 2.2% |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 14 73.7% | 7 36.8% | 6 31.6% | 8 42.1% | - |
| | 活用経験無し | 27 100.0% | 16 59.3% | 12 44.4% | 6 22.2% | 10 37.0% | 1 3.7% |

■考察

・動画コンテンツ活用経験ありの人は、**全員が何らかのメリットを感じている。**

・教育機関、動画活用経験の有無に関わらず、**「わかりやすく学習効果が高い」を最大のメリットに挙げる人が多い。**

■設問3

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のデメリットはどんなものと考えますか。

(お答えはいくつでも)

性別×年代

| | | 全体 | 1 ス成コ トに ン が時 テ か間 か・ツ るコ 作 | 2 が学 ら習 ない 効果 が上 | 3 り理 づ解 ら度 いが 反 わ か・ | 4 なが 動 い漫 画透 教 し育 て自 い体 | 5 そ の 他 | 6 特 に ない |
|----|-------|---------------|--|---------------------------------|---|---|------------------|-------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 67 56.8% | 12 10.2% | 37 31.4% | 38 32.2% | 12 10.2% | 8 6.8% |
| 男性 | | 86 100.0% | 53 61.6% | 9 10.5% | 25 29.1% | 22 25.6% | 9 10.5% | 5 5.8% |
| 男性 | 20代 | 3 100.0% | 1 33.3% | 1 33.3% | - | 2 66.7% | 1 33.3% | - |
| | 30代 | 25 100.0% | 16 64.0% | 2 8.0% | 9 36.0% | 7 28.0% | 1 4.0% | 1 4.0% |
| | 40代 | 25 100.0% | 14 56.0% | 3 12.0% | 7 28.0% | 7 28.0% | 2 8.0% | 3 12.0% |
| | 50代 | 30 100.0% | 19 63.3% | 3 10.0% | 7 23.3% | 6 20.0% | 5 16.7% | 1 3.3% |
| | 60代以上 | 3 100.0% | 3 100.0% | - | 2 66.7% | - | - | - |
| 女性 | | 32 100.0% | 14 43.8% | 3 9.4% | 12 37.5% | 16 50.0% | 3 9.4% | 3 9.4% |
| 女性 | 20代 | 4 100.0% | 2 50.0% | - | 1 25.0% | 1 25.0% | - | 1 25.0% |
| | 30代 | 13 100.0% | 6 46.2% | 2 15.4% | 5 38.5% | 7 53.8% | 2 15.4% | 2 15.4% |
| | 40代 | 11 100.0% | 2 18.2% | 1 9.1% | 5 45.5% | 5 45.5% | 1 9.1% | - |
| | 50代 | 4 100.0% | 4 100.0% | - | 1 25.0% | 3 75.0% | - | - |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - | - | - |

■考察

・男性は「コンテンツ作成の時間・コスト」を最大のデメリットに挙げる人が多い。

・女性は動画教育への理解・認識不足を指摘する人がやや多い。

■設問3

動画・映像コンテンツを利用した教育や学習のデメリットはどんなものと考えますか。
(お答えはいくつでも)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | | 全体 | 1 が間作コ か・成ン かコにテ るス時 ト ツ | 2 上学 が習 ら効 な果 いが | 3 らが応学 いわ・生 か理の り解反 づ度 | 4 し自動 て体画 いが教 な浸育 い透 | 5 そ 他 | 6 特 に ない |
|---------|--------|---------------|---|---------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------|-------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 67 56.8% | 12 10.2% | 37 31.4% | 38 32.2% | 12 10.2% | 8 6.8% |
| 小中高 | | 24 100.0% | 14 58.3% | 2 8.3% | 7 29.2% | 8 33.3% | 4 16.7% | 3 12.5% |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 9 81.8% | 1 9.1% | 2 18.2% | 2 18.2% | 3 27.3% | 1 9.1% |
| | 活用経験無し | 13 100.0% | 5 38.5% | 1 7.7% | 5 38.5% | 6 46.2% | 1 7.7% | 2 15.4% |
| 大学・大学院 | | 35 100.0% | 19 54.3% | 4 11.4% | 11 31.4% | 13 37.1% | 4 11.4% | 1 2.9% |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 11 52.4% | 3 14.3% | 9 42.9% | 8 38.1% | 2 9.5% | - |
| | 活用経験無し | 14 100.0% | 8 57.1% | 1 7.1% | 2 14.3% | 5 35.7% | 2 14.3% | 1 7.1% |
| 専門学校 | | 13 100.0% | 8 61.5% | - | 4 30.8% | 5 38.5% | - | 1 7.7% |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 3 42.9% | - | 2 28.6% | 2 28.6% | - | 1 14.3% |
| | 活用経験無し | 6 100.0% | 5 83.3% | - | 2 33.3% | 3 50.0% | - | - |
| 予備校・学習塾 | | 46 100.0% | 26 56.5% | 6 13.0% | 15 32.6% | 12 26.1% | 4 8.7% | 3 6.5% |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 10 52.6% | 1 5.3% | 5 26.3% | 3 15.8% | 3 15.8% | 1 5.3% |
| | 活用経験無し | 27 100.0% | 16 59.3% | 5 18.5% | 10 37.0% | 9 33.3% | 1 3.7% | 2 7.4% |

■考察

・教育機関、動画活用経験の有無に関わらず、「コンテンツ作成の時間・コスト」を最大のデメリットに挙げる人が多い。

・小中高の動画活用経験なしの回答者のみ、動画教育への理解・認識不足を指摘する人が多い。

・動画活用経験がない人の一部が「デメリットは特にない」と回答。

■設問4

あなたは動画・映像コンテンツを教育現場で活用されたことがありますか。(お答えは1つ)

性別×年代

| | | 全体 | 1 と活用 したこ こ | 2 と活 は用 ない たこ こ |
|----|-------|---------------|----------------------|--------------------------------|
| 全体 | | 118 100.0% | 58 49.2% | 60 50.8% |
| 男性 | | 86 100.0% | 45 52.3% | 41 47.7% |
| 男性 | 20代 | 3 100.0% | 1 33.3% | 2 66.7% |
| | 30代 | 25 100.0% | 14 56.0% | 11 44.0% |
| | 40代 | 25 100.0% | 11 44.0% | 14 56.0% |
| | 50代 | 30 100.0% | 18 60.0% | 12 40.0% |
| | 60代以上 | 3 100.0% | 1 33.3% | 2 66.7% |
| 女性 | | 32 100.0% | 13 40.6% | 19 59.4% |
| 女性 | 20代 | 4 100.0% | 1 25.0% | 3 75.0% |
| | 30代 | 13 100.0% | 7 53.8% | 6 46.2% |
| | 40代 | 11 100.0% | 3 27.3% | 8 72.7% |
| | 50代 | 4 100.0% | 2 50.0% | 2 50.0% |
| | 60代以上 | - - | - - | - - |

■考察

・女性より男性の方が「動画コンテンツ活用経験がある」がやや多い。

・年代別にみると、活用経験の有無に大きな差異はない。

■設問4

あなたは動画・映像コンテンツを教育現場で活用されたことがありますか。(お答えは1つ)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | | 全体 | 1 | 2 |
|---------|--------|---------------|--------------|------------------|
| | | | と活用 あしたこ | と活 は用 なしたこ |
| 全体 | | 118 100.0% | 58 49.2% | 60 50.8% |
| 小中高 | | 24 100.0% | 11 45.8% | 13 54.2% |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 11 100.0% | - |
| | 活用経験無し | 13 100.0% | - | 13 100.0% |
| 大学・大学院 | | 35 100.0% | 21 60.0% | 14 40.0% |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 21 100.0% | - |
| | 活用経験無し | 14 100.0% | - | 14 100.0% |
| 専門学校 | | 13 100.0% | 7 53.8% | 6 46.2% |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 7 100.0% | - |
| | 活用経験無し | 6 100.0% | - | 6 100.0% |
| 予備校・学習塾 | | 46 100.0% | 19 41.3% | 27 58.7% |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 19 100.0% | - |
| | 活用経験無し | 27 100.0% | - | 27 100.0% |

■考察

・大学・大学院、専門学校では、「動画コンテンツ活用経験がある」が「ない」よりやや多い。

■設問4-1

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの内容をお答えください。(お答えはいくつでも)

性別×年代

| | | 全体 | 1 内講 容義 ・ 授業 | 2 方な機専 法ど械門 の・技 操P術 作Cや | 3 ナビ一 ージ般 なネ教 どス養 マ・ | 4 ど参ニ 考ユ 映ー 像ス なや |
|----|-------|--------------|--------------------------|--|-------------------------------------|----------------------------------|
| 全体 | | 58 100.0% | 45 77.6% | 14 24.1% | 12 20.7% | 18 31.0% |
| 男性 | | 45 100.0% | 35 77.8% | 13 28.9% | 8 17.8% | 15 33.3% |
| 男性 | 20代 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - | - |
| | 30代 | 14 100.0% | 12 85.7% | 3 21.4% | 3 21.4% | 7 50.0% |
| | 40代 | 11 100.0% | 8 72.7% | 3 27.3% | 2 18.2% | 3 27.3% |
| | 50代 | 18 100.0% | 13 72.2% | 7 38.9% | 3 16.7% | 5 27.8% |
| | 60代以上 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - | - |
| 女性 | | 13 100.0% | 10 76.9% | 1 7.7% | 4 30.8% | 3 23.1% |
| 女性 | 20代 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - | - |
| | 30代 | 7 100.0% | 6 85.7% | 1 14.3% | 1 14.3% | 1 14.3% |
| | 40代 | 3 100.0% | 2 66.7% | - | 1 33.3% | 1 33.3% |
| | 50代 | 2 100.0% | 1 50.0% | - | 2 100.0% | 1 50.0% |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - |

■考察

・男性は「授業内容」に続き、「ニュース映像」「専門技術・機械の操作方法」の映像コンテンツを活用。

・女性は「授業内容」に続き、「一般教養・ビジネスマナー」の映像コンテンツを重宝。

■設問4-1

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの内容をお答えください。(お答えはいくつでも)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|---------|--------------|---------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|------------|
| | | 内講 容義 ・ 授業 | 方な機専 法ど械門 の・技 操P術 作Cや | ナビ一 ーシ般 なネ教 どス養 マ・ | ど参二 考ユ 映し 像ス なや | |
| 全体 | 58 100.0% | 45 77.6% | 14 24.1% | 12 20.7% | 18 31.0% | |
| 小中高 | 11 100.0% | 10 90.9% | 3 27.3% | 2 18.2% | 4 36.4% | |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 10 90.9% | 3 27.3% | 2 18.2% | 4 36.4% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 大学・大学院 | 21 100.0% | 16 76.2% | 3 14.3% | 4 19.0% | 7 33.3% | |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 16 76.2% | 3 14.3% | 4 19.0% | 7 33.3% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 専門学校 | 7 100.0% | 3 42.9% | 4 57.1% | 2 28.6% | 2 28.6% | |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 3 42.9% | 4 57.1% | 2 28.6% | 2 28.6% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 予備校・学習塾 | 19 100.0% | 16 84.2% | 4 21.1% | 4 21.1% | 5 26.3% | |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 16 84.2% | 4 21.1% | 4 21.1% | 5 26.3% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |

■考察

・小中高、大学・大学院、予備校では、授業の映像コンテンツ化が多い。

・専門学校では、専門技術・機械の操作方法等のコンテンツが重宝されている。

■設問4-2

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの活用方法をお答えください。(お答えはいくつでも)

性別×年代

| | | 全体 | 1 | 2 | 3 |
|----|-------|--------------|------------------------------------|--|------------------------------------|
| | | | て足に講 活資お義 用料け・ とる授 し補業 | ど習てドオ に・予教ン 活補習材デ 用講・とマ な復しン | てかる学 活イ知校 用ブ識に とアお ししけ |
| 全体 | | 58 100.0% | 48 82.8% | 15 25.9% | 17 29.3% |
| 男性 | | 45 100.0% | 37 82.2% | 9 20.0% | 13 28.9% |
| 男性 | 20代 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - |
| | 30代 | 14 100.0% | 12 85.7% | 1 7.1% | 5 35.7% |
| | 40代 | 11 100.0% | 9 81.8% | 2 18.2% | 2 18.2% |
| | 50代 | 18 100.0% | 14 77.8% | 6 33.3% | 6 33.3% |
| | 60代以上 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - |
| 女性 | | 13 100.0% | 11 84.6% | 6 46.2% | 4 30.8% |
| 女性 | 20代 | 1 100.0% | 1 100.0% | 1 100.0% | 1 100.0% |
| | 30代 | 7 100.0% | 5 71.4% | 4 57.1% | 2 28.6% |
| | 40代 | 3 100.0% | 3 100.0% | 1 33.3% | - |
| | 50代 | 2 100.0% | 2 100.0% | - | 1 50.0% |
| | 60代以上 | - | - | - | - |

■考察

・動画コンテンツは、
性別・年代問わず、主に
講義・授業の補足資料と
して活用されている。

■設問4-2

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツの活用方法をお答えください。(お答えはいくつでも)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | 全体 | 1 | 2 | 3 |
|---------|--------------|------------------------------------|--|-----------------------------------|
| | | て足に講 活資お義 用料け・ とる授 し補業 | ど習てドオ に・予教 活補習材デ 用講・とマ な復し | てかる学 活イ知校 用ブ識に とアお しけ |
| 全体 | 58 100.0% | 48 82.8% | 15 25.9% | 17 29.3% |
| 小中高 | 11 100.0% | 11 100.0% | 2 18.2% | 5 45.5% |
| 小中高 | | | | |
| 活用経験有り | 11 100.0% | 11 100.0% | 2 18.2% | 5 45.5% |
| 活用経験無し | - | - | - | - |
| 大学・大学院 | 21 100.0% | 16 76.2% | 7 33.3% | 7 33.3% |
| 大学・大学院 | | | | |
| 活用経験有り | 21 100.0% | 16 76.2% | 7 33.3% | 7 33.3% |
| 活用経験無し | - | - | - | - |
| 専門学校 | 7 100.0% | 6 85.7% | - | 1 14.3% |
| 専門学校 | | | | |
| 活用経験有り | 7 100.0% | 6 85.7% | - | 1 14.3% |
| 活用経験無し | - | - | - | - |
| 予備校・学習塾 | 19 100.0% | 15 78.9% | 6 31.6% | 4 21.1% |
| 予備校・学習塾 | | | | |
| 活用経験有り | 19 100.0% | 15 78.9% | 6 31.6% | 4 21.1% |
| 活用経験無し | - | - | - | - |

■考察

・動画コンテンツは、主に講義・授業の補足資料として活用されている。

・小中高では、学内知識アーカイブとしての活用もウェイトが高めである。

・大学・大学院、予備校・塾では、予習・復習・補講用のオンデマンド教材としても活用されている。

■設問4-3

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツは主にどなたが作成していますか。(お答えは1つ)

性別×年代

| | | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|----|-------|--------------|------------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-------------|
| | | | むご教 自職 身員 も(※ 含) | 外 部 の 業 者 | をコ市 使ン販 用テの 用テン ツ動 画 | そ の 他 |
| 全体 | | 58 100.0% | 30 51.7% | 10 17.2% | 16 27.6% | 2 3.4% |
| 男性 | | 45 100.0% | 26 57.8% | 8 17.8% | 10 22.2% | 1 2.2% |
| 男性 | 20代 | 1 100.0% | - | 1 100.0% | - | - |
| | 30代 | 14 100.0% | 9 64.3% | - | 5 35.7% | - |
| | 40代 | 11 100.0% | 6 54.5% | 2 18.2% | 2 18.2% | 1 9.1% |
| | 50代 | 18 100.0% | 10 55.6% | 5 27.8% | 3 16.7% | - |
| | 60代以上 | 1 100.0% | 1 100.0% | - | - | - |
| 女性 | | 13 100.0% | 4 30.8% | 2 15.4% | 6 46.2% | 1 7.7% |
| 女性 | 20代 | 1 100.0% | - | - | 1 100.0% | - |
| | 30代 | 7 100.0% | 2 28.6% | 2 28.6% | 2 28.6% | 1 14.3% |
| | 40代 | 3 100.0% | 1 33.3% | - | 2 66.7% | - |
| | 50代 | 2 100.0% | 1 50.0% | - | 1 50.0% | - |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - |

■考察

・男性は、教職員によるオリジナルコンテンツ作成が多い。

・女性は、市販のコンテンツの使用が多い。

■設問4-3

活用されたことのある方にお尋ねします。あなたが活用した動画・映像コンテンツは主にどなたが作成していますか。(お答えは1つ)

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|---------|--------------|------------------------------|-----------------------|-------------------------------|-------------|-----------|
| | | むご教 自職 身員 も(※ 含) | 外 部 の 業 者 | をコ市 使ン販 用テの ン動 ツ画 | そ の 他 | |
| 全体 | 58 100.0% | 30 51.7% | 10 17.2% | 16 27.6% | 2 3.4% | |
| 小中高 | 11 100.0% | 5 45.5% | - | 5 45.5% | 1 9.1% | |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 5 45.5% | - | 5 45.5% | 1 9.1% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 大学・大学院 | 21 100.0% | 14 66.7% | 4 19.0% | 3 14.3% | - | |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 14 66.7% | 4 19.0% | 3 14.3% | - |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 専門学校 | 7 100.0% | 3 42.9% | 1 14.3% | 3 42.9% | - | |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | 3 42.9% | 1 14.3% | 3 42.9% | - |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |
| 予備校・学習塾 | 19 100.0% | 8 42.1% | 5 26.3% | 5 26.3% | 1 5.3% | |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 8 42.1% | 5 26.3% | 5 26.3% | 1 5.3% |
| | 活用経験無し | - | - | - | - | - |

■考察

・大学・大学院、予備校・塾では、**教職員によるオリジナルコンテンツ作成が主流。**

・小中高、専門学校では**オリジナルコンテンツと市販のコンテンツの使用が半々。**

・外部業者によるオリジナルコンテンツ作成は、小中高ではゼロ、その他教育機関でも少数派。

■設問5

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスについて、今後、このような動画・映像コンテンツのサービスを利用してみたいと思いますか。

性別×年代

| | | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
|----|-------|---------------|----------------------------|----------------------|----------------------|------------------------------|-------------------------------|
| | | | しす てご みく た利 い用 | てや みや た利 い用 | いど えち なら いも | なしあ いてま みり た利 く用 | く用ま なしっ いてた みく た利 |
| 全体 | | 118 100.0% | 10 8.5% | 55 46.6% | 41 34.7% | 9 7.6% | 3 2.5% |
| 男性 | | 86 100.0% | 8 9.3% | 39 45.3% | 27 31.4% | 9 10.5% | 3 3.5% |
| 男性 | 20代 | 3 100.0% | - | 1 33.3% | - | - | 2 66.7% |
| | 30代 | 25 100.0% | 3 12.0% | 13 52.0% | 7 28.0% | 2 8.0% | - |
| | 40代 | 25 100.0% | 1 4.0% | 12 48.0% | 9 36.0% | 3 12.0% | - |
| | 50代 | 30 100.0% | 4 13.3% | 12 40.0% | 9 30.0% | 4 13.3% | 1 3.3% |
| | 60代以上 | 3 100.0% | - | 1 33.3% | 2 66.7% | - | - |
| 女性 | | 32 100.0% | 2 6.3% | 16 50.0% | 14 43.8% | - | - |
| 女性 | 20代 | 4 100.0% | - | 1 25.0% | 3 75.0% | - | - |
| | 30代 | 13 100.0% | 1 7.7% | 9 69.2% | 3 23.1% | - | - |
| | 40代 | 11 100.0% | - | 5 45.5% | 6 54.5% | - | - |
| | 50代 | 4 100.0% | 1 25.0% | 1 25.0% | 2 50.0% | - | - |
| | 60代以上 | - | - | - | - | - | - |

■考察

- ・「利用したくない」と回答しているのはすべて男性。
- ・30代女性は、他の年代に比べ動画コンテンツサービスの活用意欲が高い。

■設問5

Apple社が提供する教育コンテンツ配信システム「iTunes U」や、教育・学習向けの動画・映像コンテンツを厳選した「YouTube for Schools」の動画コンテンツサービスについて、今後、このような動画・映像コンテンツのサービスを利用してみたいと思いますか。

勤務先×教育現場における動画コンテンツの活用経験有無

| | 全体 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
|---------|---------------|----------------------------|---------------------------|----------------------|------------------------------|-------------------------------|------------|
| | | しす てご みく た利 い用 | てや みや た利 い用 し | いど えち なら いも | なしあ いてま みり た利 く用 | く用ま なしっ いてた みく た利 | |
| 全体 | 118 100.0% | 10 8.5% | 55 46.6% | 41 34.7% | 9 7.6% | 3 2.5% | |
| 小中高 | 24 100.0% | 2 8.3% | 9 37.5% | 12 50.0% | 1 4.2% | - | |
| 小中高 | 活用経験有り | 11 100.0% | 1 9.1% | 6 54.5% | 4 36.4% | - | - |
| | 活用経験無し | 13 100.0% | 1 7.7% | 3 23.1% | 8 61.5% | 1 7.7% | - |
| 大学・大学院 | 35 100.0% | 7 20.0% | 17 48.6% | 5 14.3% | 4 11.4% | 2 5.7% | |
| 大学・大学院 | 活用経験有り | 21 100.0% | 5 23.8% | 11 52.4% | 3 14.3% | 2 9.5% | - |
| | 活用経験無し | 14 100.0% | 2 14.3% | 6 42.9% | 2 14.3% | 2 14.3% | 2 14.3% |
| 専門学校 | 13 100.0% | - | 9 69.2% | 4 30.8% | - | - | |
| 専門学校 | 活用経験有り | 7 100.0% | - | 7 100.0% | - | - | - |
| | 活用経験無し | 6 100.0% | - | 2 33.3% | 4 66.7% | - | - |
| 予備校・学習塾 | 46 100.0% | 1 2.2% | 20 43.5% | 20 43.5% | 4 8.7% | 1 2.2% | |
| 予備校・学習塾 | 活用経験有り | 19 100.0% | 1 5.3% | 11 57.9% | 3 15.8% | 3 15.8% | 1 5.3% |
| | 活用経験無し | 27 100.0% | - | 9 33.3% | 17 63.0% | 1 3.7% | - |

■考察

・動画活用経験のある人は「やや利用してみたい」が多い。動画活用のメリットや具体的活用法をある程度イメージできていると考えられる。

・動画活用経験のない人は「どちらともいえない」が多い。関心はあるものの、具体的な活用イメージが持てないためと考えられる。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<1. コンテンツに関する課題>

| | |
|-------------------|---------------------------------|
| コンテンツ内容 | 低コストで良質な教材を開発願いたい。 |
| | ただ見せるだけで終わらないようなものがほしい |
| | ただ映像を配信するだけでは不十分。後のフォローが大切。 |
| | あくまで補助的なものとして作って欲しい。 |
| | キャリア教育、道徳教育において優れた教材を探している。 |
| | 分子の動きや反応過程をうまく説明できる動画コンテンツが欲しい。 |
| | 子供対象の語学教育のコンテンツがあれば良い。 |
| | 英語によるコンテンツは利用しづらい。 |
| | どの映像もどれでも再生可能な形式で提供してもらいたい |
| | あまり時間が長いコンテンツは、効果がないのではないかな |
| | 子供が喜んでして、利益が上がるもの。 |
| | よほど中身が良くないと、効果が無い。 |
| | 教員が良いコンテンツを共有できる場を多く提供してもらいたい。 |
| 画像の鮮明度が微妙で使いづらそう。 | |

(一部抜粋)

■考察

- ・コンテンツに関する要望・意見がもっとも多い結果となった。
- ・教育内容・学習者にあったコンテンツかつ低コストなものが求められている。
- ・見て終わりではなく、リアル授業やeラーニング、テスト等との組み合わせによりさらに教育効果を高められる映像コンテンツの使い方が模索されている。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<2. その他さまざまな課題>

| | |
|--------|--|
| 設備・環境 | 使用方法についてまだまだ準備や精査が必要 |
| | まず設備が整っていること。未経験者にもコンテンツが扱いやすいこと。コストがあまりかからないこと。 |
| | 作成補助・支援機能を充実させて頂きたい。 |
| コスト | 大がかりな機器を必要としないコストダウン |
| | 低コストが実現すると良い |
| 著作権 | コンテンツの制作は著作権の問題があり、二の足を踏んでしまう教員が多いと感じる |
| | 低予算で配布でき、著作権が守られること |
| 効果・有効性 | 実際の成果が見えにくいので実際何を扱うのか、目的などにもよると思う。 |
| | こういった年代の子たちに対して(例えば小学生なのか、中学生なのか)最も有効となるのか知りたい。 |

(一部抜粋)

■考察

- ・設備・環境面の整備も必要不可欠である。
- ・コンテンツに関する課題でもあるが、コスト、著作権の課題を挙げる人も多い。

■設問6

動画・映像コンテンツを利用した教育について、ご要望やご意見を教えてください。

<3. 期待の声>

| | |
|------|---|
| 期待の声 | テレビのドキュメンタリーなどはとても教育に役立てやすいが、良いものがあったことを後で知ることが多く役立てづらい状況。YouTubeなどで教育のカテゴリーから常に選択・使用することが出来れば、使いやすく今後の発展に繋げやすい |
| | これからは各生徒がタブレットを持ち込んで授業する形が一般化してくると思われるので、動画等を取り入れる教育は増えてくると思う |
| | 理解しやすくなったり、多方面に広がる学習ができるので、教育の場には不可欠である。 |
| | 子どもたちにもっと学ぶことに興味を持ってもらえるように、新しいことはどんどん試していきたい |
| | 教育は生きた人間が互いに相手の顔を見表情を確認しながら為されるのを主としたい。だがこうしたコンテンツに若者は興味を起しやすく、また知識を得るには勝れた道具である。副教材として考えていきたい |
| | スマートフォンで見れるサイト・コンテンツがこれから先は有効 |
| | 生徒が自分のペースで学習できると思う。反復できることがメリット。 |
| | 今後普及が広まり便利に使えるようになってほしい |

(一部抜粋)

■考察

- ・新しい教育をつくるツールとして、動画・映像コンテンツが期待されている。
- ・時代にあった、学びの形を教職員は模索している。

ビデオ教材(映像コンテンツ)の教育利用に関する意識調査報告書

2012年1月発行

発行： 株式会社デジタル・ナレッジ「eラーニング戦略研究所」
〒110-0005 東京都台東区上野5丁目3番4号 eラーニング・ラボ 秋葉原

<http://Study.jp/esri>

Tel. 03-5846-2131 / Fax. 03-5846-2132

(禁無断転載・転用・複写)

eラーニング戦略研究所
eLearning Strategy Research Institute

株式会社デジタル・ナレッジ <http://study.jp>